

目次

(190) 製品関連記事

- ▽「アシスト能力向上した電動自転車／ブリヂストンサイクル」
- ▽「明治の人気菓子がオセロに／メガハウス」
- ▽「一押しで定量のお酒注げる／サントリーマーケティング&コマース」
- ▽「シニアも動画簡単に／富士通、NTTドコモ」

(191) サービス関連記事

- ▽「店舗、バリアフリー化／なか卯」

(192) 新刊紹介

- ▽『障害者雇用の実務と就労支援 「合理的配慮」のアプローチ』
- ▽『チームで支える高次脳機能障害のある人の地域生活  
生活版ジョブコーチ手法を活用する自立支援』

---

(190) 製品関連記事

▼「アシスト能力向上した電動自転車／ブリヂストンサイクル」

ブリヂストンサイクルは電動アシスト自転車「アシスタ DX」の2017年モデルを2月中旬に発売する。走行距離は80キロメートルと従来の1.4倍に伸ばした。アシスト能力を向上し女性やシニアにも使いやすくした。

17年モデルはバッテリー容量を約4割増やした。高出力に対応し、より頑丈な内装型の3段ギアを採用した。

カラーは緑、ピンクなど5色。タイヤサイズが26インチ、24インチの2モデルで販売する。

(日経産業新聞 1月26日12面より抜粋)

▼「明治の人気菓子がオセロに／メガハウス」

「きのこの山 VS たけのこの里 オセロ ゲーム 3」。明治の人気菓子を題材にした立体型オセロゲーム。コマは「きのこの山」と「たけのこの里」をほぼ原寸大で模しており、裏面同士を連結させたものを「オセロ石」として使用。分離して単体にすれば、はさみ将棋や四目並べを楽しめる。盤の寸法は168ミリの正方形(高さ30ミリ)。

(日経MJ 1月30日17面より抜粋)

▼「一押しで定量のお酒注げる／サントリーマーケティング&コマース」

ポンプディスペンサー「一押し(いちおし)くんプラス」。酒が入ったペットボトル容器にセットすれば、ひと押しで定量の酒を取り出せる。吐出量は定量の30mLのほか15mLでも注げ、ヘッドを回して選択できる。日本製ペットボトルに対応。ノズルは約10mm長くなり、グラスがボトルに当たらない。

(日経MJ 2月1日12面より抜粋)

▼「シニアも動画簡単に／富士通、NTTドコモ」

「らくらくスマートフォン4」。NTTドコモが販売する富士通製のシニア向けスマートフォン(スマホ)シリーズ最新機種。前機種のユーザーが違和感なく本機に機種変更できるようにするため、本体サイズやホーム画面のメニュー構成などは2014年7月に発売した前機種をほぼ踏襲しつつ、新機能を加えた。

シニアユーザーがタッチパネルを確実に操作できるよう、入力のために画面を軽く押すとボタンのような押した感触が指に伝わる。防水・防じん性能も備えている。従来型携帯電話(ガラケー)を使っているシニアの取り込みも目指している。

(日経産業新聞 2月1日15面より抜粋)

---

(191) サービス関連記事

▼「店舗、バリアフリー化／なか卯」

ゼンショーホールディングス傘下のなか卯が「シニア向けファストフード」という独自の立ち位置を志向している。プレミアムメニューを増やしているだけでなく、店舗のバリアフリー化も進め高い年齢層の取り込みに成功している。シニア客取り込みで先行しているファミリーレストランなどから客を呼び込むことにつながっている。

シニア客の増加に伴い、店作りも少しずつ変えている。昨年新店や改装店舗からトイレを男女別の広々としたタイプに変更したり、店内の段差を無くすバリアフリー化にも取り組み始めたりした。

(日経MJ 2月3日9面より抜粋)

---

## (192) 新刊紹介

### ▼『障害者雇用の実務と就労支援 「合理的配慮」のアプローチ』

障害者雇用制度や、平成25年の障害者雇用促進法改正について解説。さらに、障害者雇用を行う際の募集・採用、職場定着のための「合理的配慮」提供と雇用プロセスの実践事例を掲載する。

著：眞保智子（しんぼ・さとこ）

発行：日本法令

本体価格：1900円（税別）

ISBN：978-4-539-72523-8

### ▼『チームで支える高次脳機能障害のある人の地域生活 生活版ジョブコーチ手法を活用する自立支援』

高次脳機能障害者の地域生活を支援するための知識や方法をまとめた一冊。生活訓練施設での訓練、地域生活支援のサービス提供に至るまでのプロセス、困難ケースの地域での連携支援などを解説。取り外せる演習資料（別冊）付き。

編著：阿部順子（あべ・じゅんこ）

監修：蒲澤秀洋（かばさわ・ひでひろ）

発行：中央法規出版

本体価格：2400円（税別）

ISBN : 978-4-8058-5453-2

---

(編集後記)

昨年の暮れ、仕事を終え、浅草のとある店で食事をしていると、隣に陽気な二人組の方がおり、いつしか話が演劇、歌など共通の話題でもりあがりました。

「で、どんな仕事してんの？」と陽気な二人組。

「障害の有無にかかわらず～ 共用品とは～」と私。

と突然、陽気な二人組の内のお一人が「牛乳パックの上の切り欠き、社内のある人に頼まれて、最初にやったよ！」と陽気な彼。

「えっ！どちらの会社…ですか？」と私。

「COOPだよ。もう退職して、こうして入社同期のふたりで、しょっちゅう出歩いているんだ」と陽気な彼。

「で、もしかしてですが、社内のある人って、TKさんという方ではありませんか？」と私。

「えっ、え～？そうだよ！」からは、TKさんの談義と共用品推進機構の前身団体であるE&Cプロジェクト談義で盛り上がり、あっという間に時間が過ぎていきました。(星川安之)

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>